

目 次

I. 地形・地質	[松井 健]	1
1. 環境調査における地形・地質の意義		1
2. 現況調査		2
2.1 調査項目		2
2.2 調査地域		2
2.3 調査の精度と頻度		2
2.4 既存資料の収集と整理		2
2.5 現地調査の方法と調査結果のまとめ方		4
3. 予 測		12
3.1 予測対象		12
3.2 予測方法と予測結果のまとめ方		12
4. 評 価		13
4.1 評価基準(環境保全目標)の設定		13
4.2 評価方法		13
5. 環境保全対策		14
6. 環境モニタリング		14
II. 植 物	[大賀宣彦]	15
1. 環境調査における植物調査の意義		15
2. 現況調査		16
2.1 調査項目		16
2.2 調査地域		18
2.3 調査の精度と頻度と時期		19
2.4 既存資料の収集と整理		21
2.5 現地調査の方法と調査結果のまとめ方		22
3. 予 測		28
3.1 予測の対象		29
3.2 予測方法と予測結果のまとめ方		29
4. 評 価		30
4.1 評価基準の設定		30
4.2 評価方法		35
4.3 予測評価結果のまとめ方		35
5. 環境保全対策		36
6. 環境モニタリング		38

5.3 予測評価事例	91
6. 景観保全対策.....	95
6.1 景観保全対策の考え方	95
6.2 景観保全対策事例	95
7. 環境モニタリング	129
V. 野外レクリエーション地..... [丸田頼一・荒川 仁]...	131
1. 環境調査における野外レクリエーション地調査の意義	131
2. 現況調査	133
2.1 調査項目.....	138
2.2 調査地域.....	139
2.3 調査の精度と頻度.....	144
2.4 既存資料の収集と整理.....	147
2.5 現地調査の方法と調査結果のまとめ方.....	147
3. 予 測	149
3.1 予測対象.....	149
3.2 予測方法と予測結果のまとめ方.....	150
4. 評 価	150
4.1 評価基準の設定.....	151
4.2 評価方法および予測評価結果のまとめ方.....	151
5. 環境保全対策	152
6. 環境モニタリング	152
VI. 土 壌..... [松井 健]...	153
1. 環境調査における土壌項目の意義	153
1.1 土壌汚染について.....	153
1.2 土壌の環境保全機能.....	153
2. 現況調査	155
2.1 調査項目.....	155
2.2 調査地域.....	155
2.3 調査の精度と頻度.....	155
2.4 既存資料の収集と整理.....	155
2.5 現地調査，理化学的分析の方法と調査結果のまとめ方.....	155
3. 予 測	160
3.1 予測対象.....	160
3.2 予測方法と予測結果のまとめ方.....	160
4. 評 価	161
4.1 現況評価.....	161

4.2	予測結果の評価	164
5.	環境保全対策	165
6.	環境モニタリング	166
VII.	生態系	[沖野外輝夫] 168
1.	環境調査における生態系調査の意義	168
2.	現況調査	168
2.1	調査項目	168
2.2	調査地域	170
2.3	調査の精度と時期	171
2.4	既存資料の収集と整理	172
2.5	生態系調査の方法と調査結果のまとめ方	172
3.	予測	181
3.1	予測対象	181
3.2	予測手法と予測結果のまとめ方	181
4.	評価	188
4.1	評価基準(環境保全目標)の設定	188
4.2	評価方法	188
4.3	現況評価のまとめ方	189
4.4	予測評価結果のまとめ方	189
5.	生態系保全対策	189
6.	環境モニタリング	192
VIII.	緑	[興水 肇・篠原 修・三沢 彰] 194
1.	環境調査における緑調査の意義	194
1.1	緑と他項目との関係	194
1.2	緑の調査, 予測, 評価の特殊性	194
1.3	供用後の変化と回復調査の重要性	194
2.	現況調査	195
2.1	調査項目	195
2.2	調査範囲	196
2.3	調査の精度と時期	197
2.4	関連資料の収集と整理	198
2.5	現地調査の方法と調査結果のまとめ方	200
3.	予測	205
3.1	緑被の減少・回復と活力度の変化	205
3.2	緑機能の変化と指標	205
3.3	緑の景観の変化の予測	207

4. 評価	209
4.1 緑の環境保全目標	209
4.2 緑被の予測結果と評価	209
4.3 緑機能の評価と予測結果のまとめ方	211
4.4 緑景観の変化の評価と予測結果のまとめ方	214
5. 環境保全対策	215
5.1 緑被の保全と活力度の向上	215
5.2 緑機能の補強と緑化	215
5.3 緑の景観の保全と緑化	216
6. 環境モニタリング	217
6.1 緑の成長と活力度	217
6.2 緑機能の経年変化	217
6.3 緑の景観の経年変化	218
IX. 地盤沈下	[瀬藤一郎・金子純一・小山勝久] 219
1. 環境調査における地盤沈下調査の意義	219
2. 現況調査	221
2.1 調査項目	221
2.2 調査地域	221
2.3 調査の精度と頻度	221
2.4 既存資料の収集と整理	222
2.5 現地調査の方法と作成する資料	224
3. 予測	227
3.1 予測対象	227
3.2 予測方法	228
3.3 予測結果のまとめ方	237
4. 評価	237
4.1 評価基準(環境保全目標)の設定	237
4.2 評価方法	237
4.3 現況評価のまとめ方	237
4.4 予測結果評価のまとめ方	238
5. 環境保全対策	238
6. 環境モニタリング	240
資料編	243
資料1 環境影響評価の実施について(昭和59年8月28日閣議決定)	245
資料2 環境影響評価に係る調査、予測及び評価のための基本的事項(昭和60年11月27日 環境庁長官決定)	249

資料 3	(建設省所管)ダム事業環境影響評価技術指針(昭和 60 年 9 月 26 日)	251
資料 4	(建設省所管)公有水面の埋立て及び干拓に係る環境影響評価技術指針(昭和 61 年 4 月 8 日)	257
資料 5	(建設省所管)道路事業環境影響評価技術指針(昭和 60 年 9 月 26 日)	264
資料 6	(建設省所管)土地区画整理事業等環境影響評価技術指針(昭和 62 年 3 月 31 日)	272
資料 7	(農林水産省所管)農用地の造成事業に係る環境影響評価指針(昭和 62 年 2 月 28 日)	280
資料 8	(運輸省所管)飛行場に係る環境影響評価指針(昭和 61 年 1 月 22 日)	283
資料 9	(通商産業省所管)火力・原子力発電所の立地に関する環境影響調査要綱(昭和 54 年 6 月 26 日)	288
資料10	(通商産業省所管)火力・原子力発電所の立地に関する環境審査指針(昭和 54 年 6 月 26 日)	305
索 引	309

